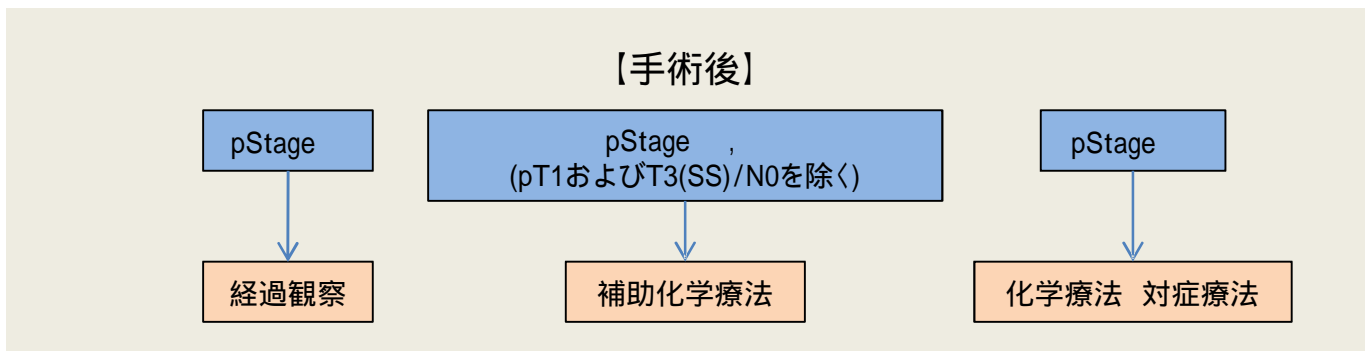
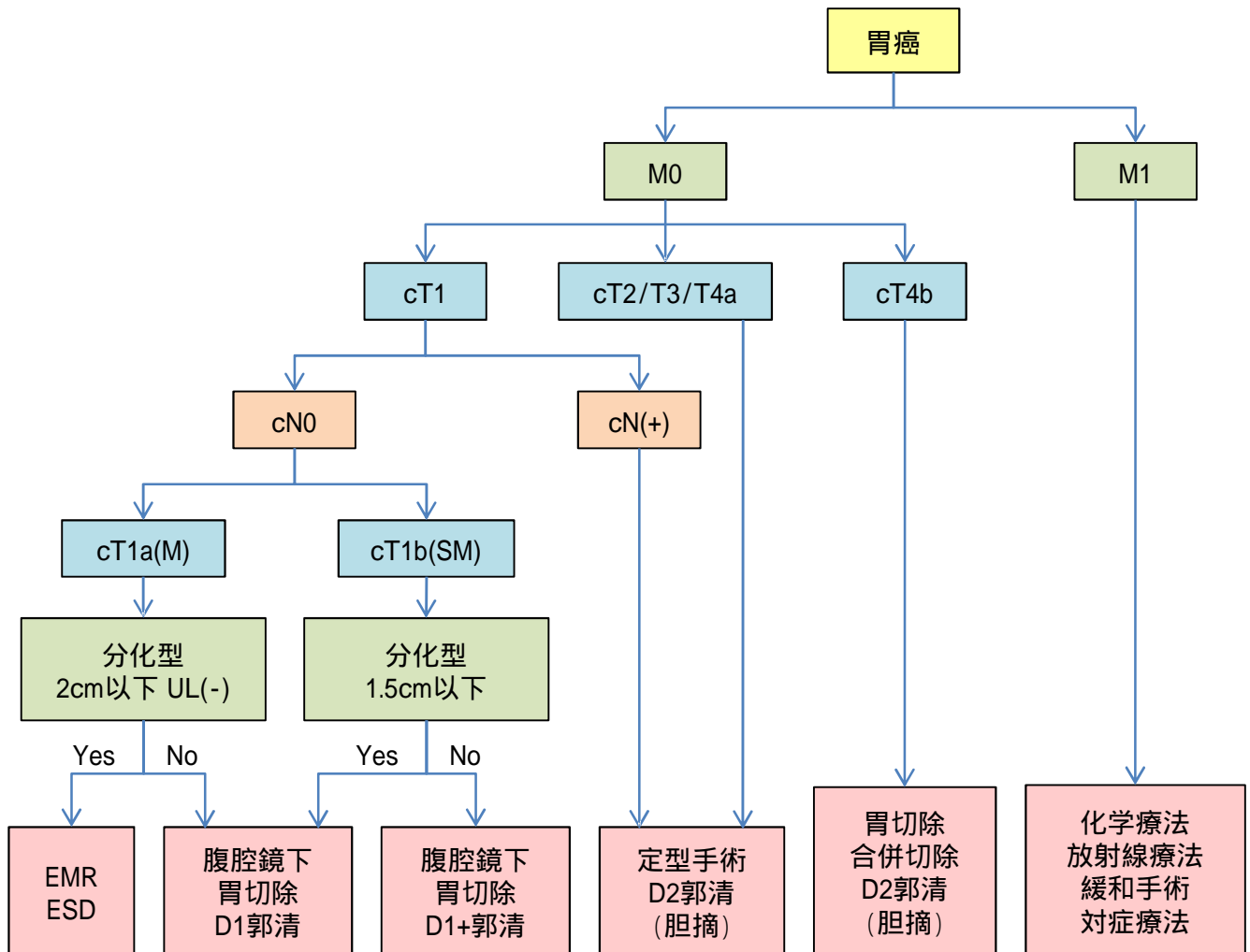
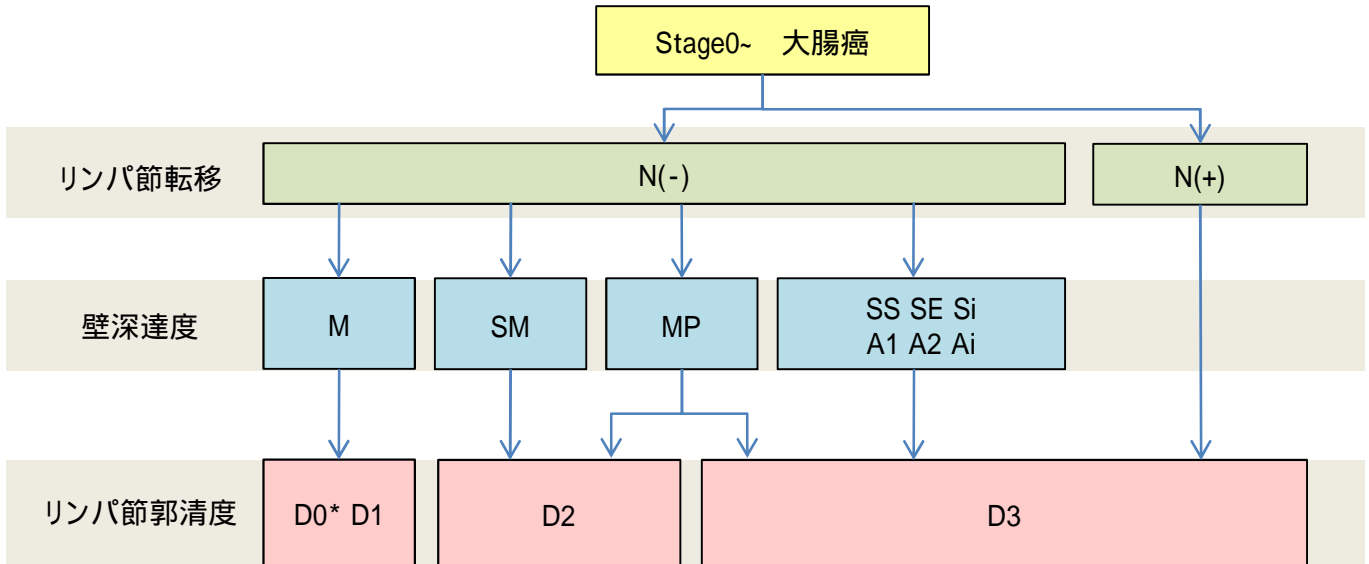


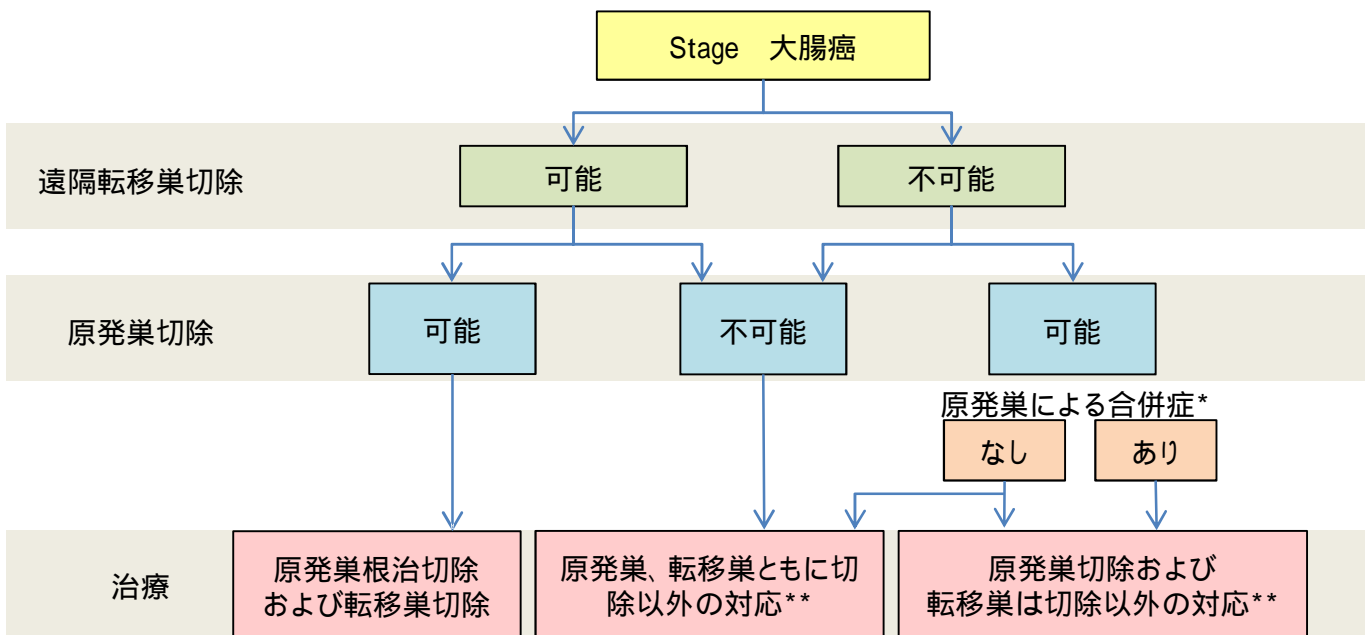
胃癌診療ガイドライン



大腸癌診療ガイドライン



*直腸癌では経肛門的切除を含む

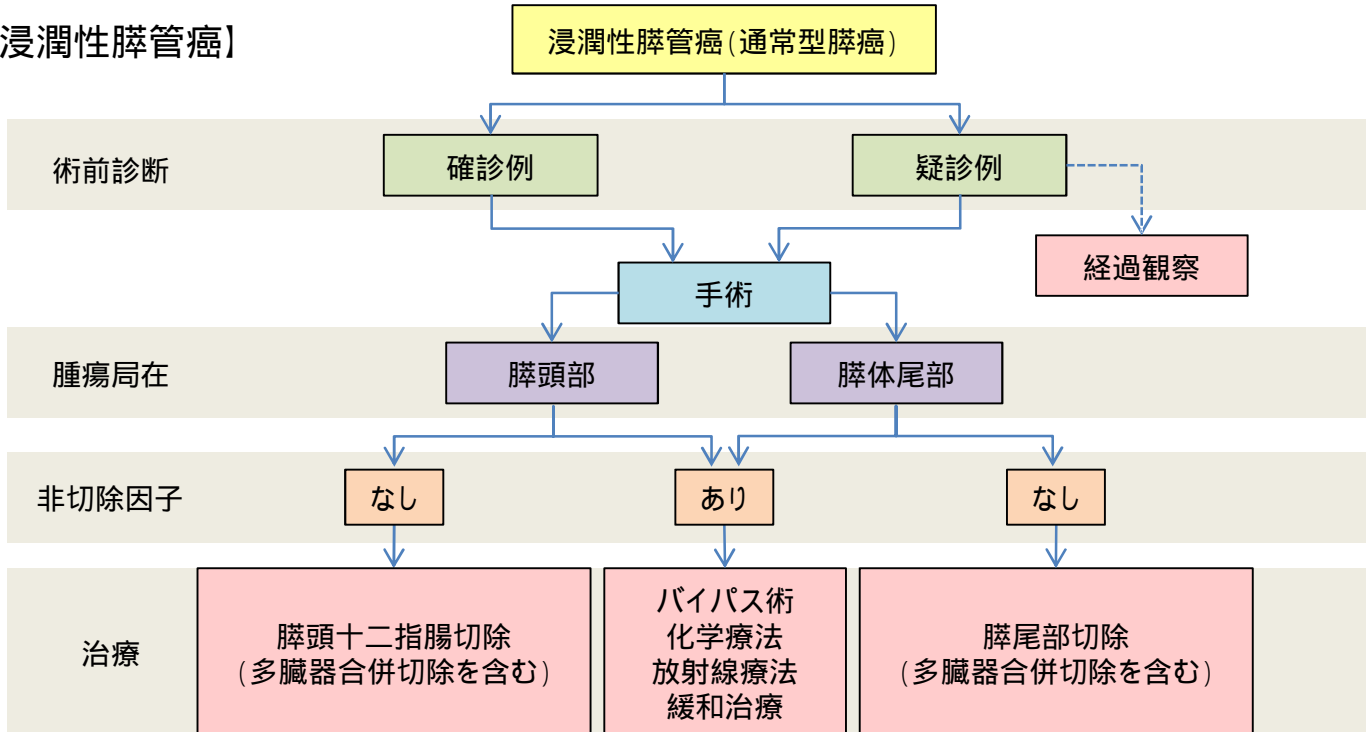


*原発巣による合併症: 大出血、高度貧血、穿通・穿孔、狭窄、等

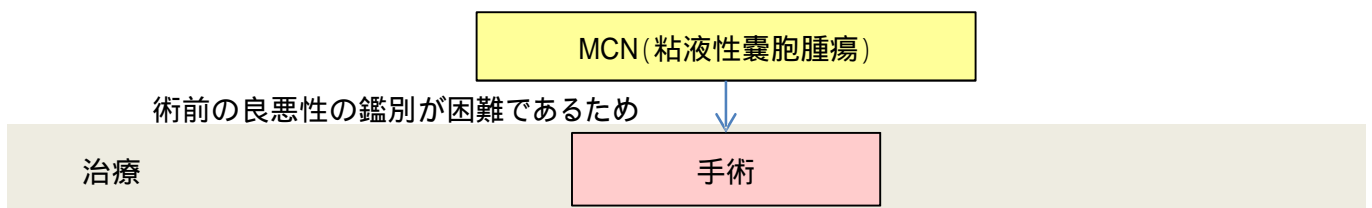
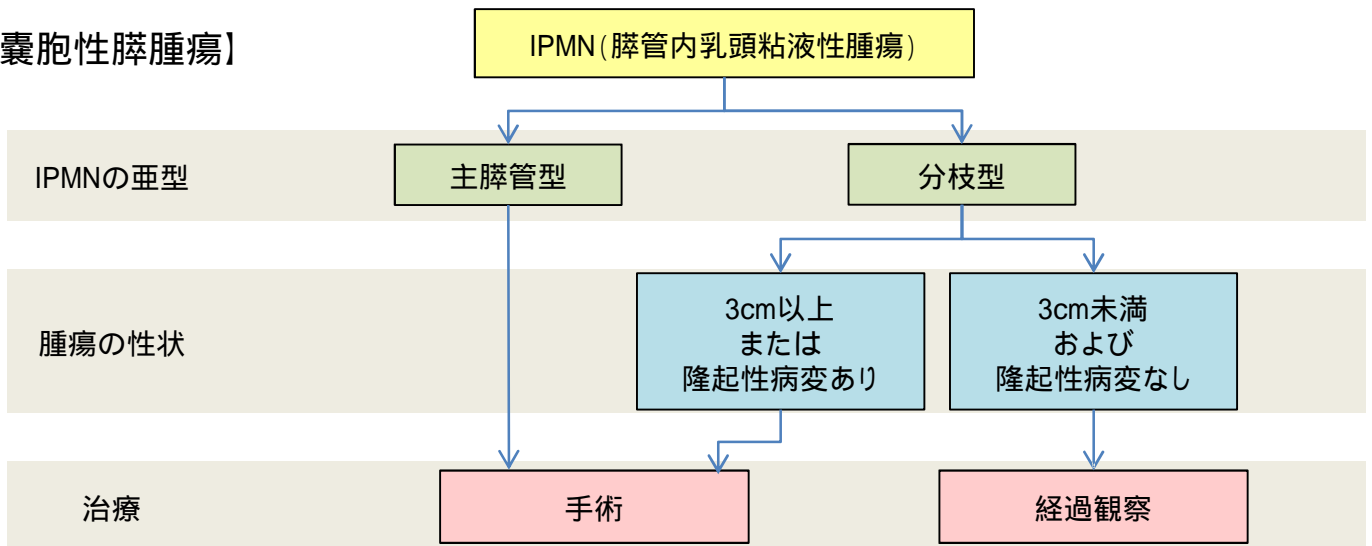
**切除以外の対応: 原発巣には緩和手術、化学療法、放射線療法ならびに血行性転移に対する治療方針等を参照

膵癌診療ガイドライン

【浸潤性膵管癌】

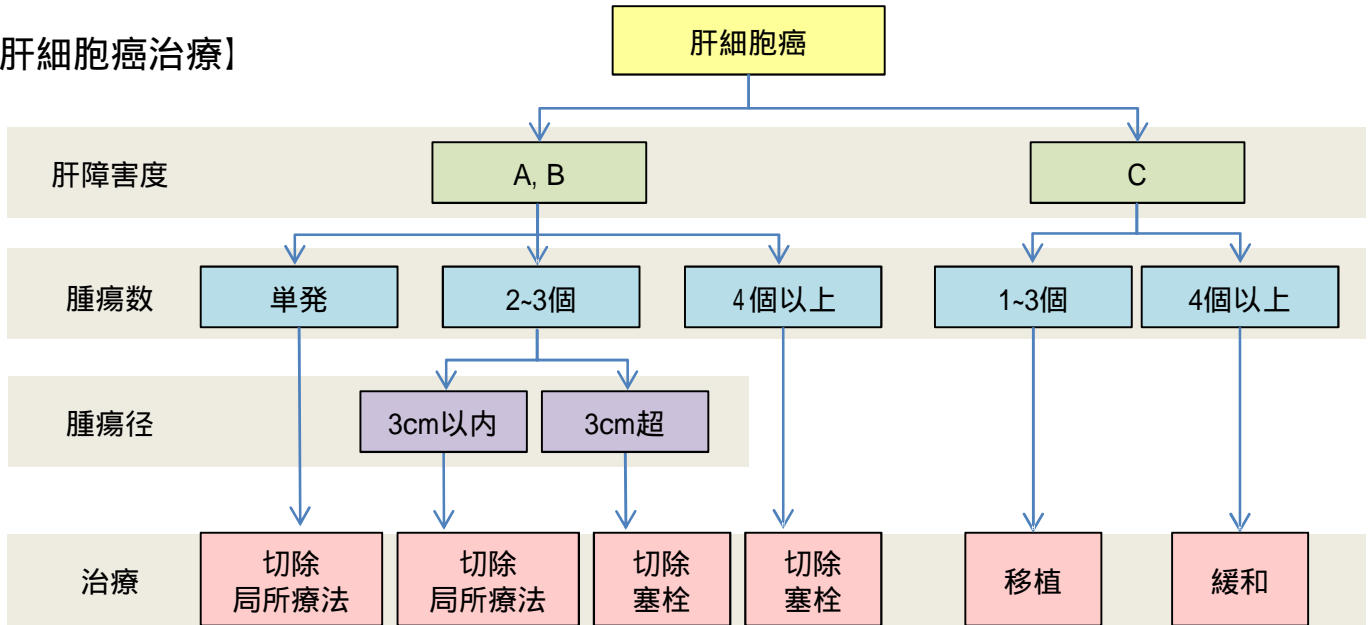


【嚢胞性膵腫瘍】

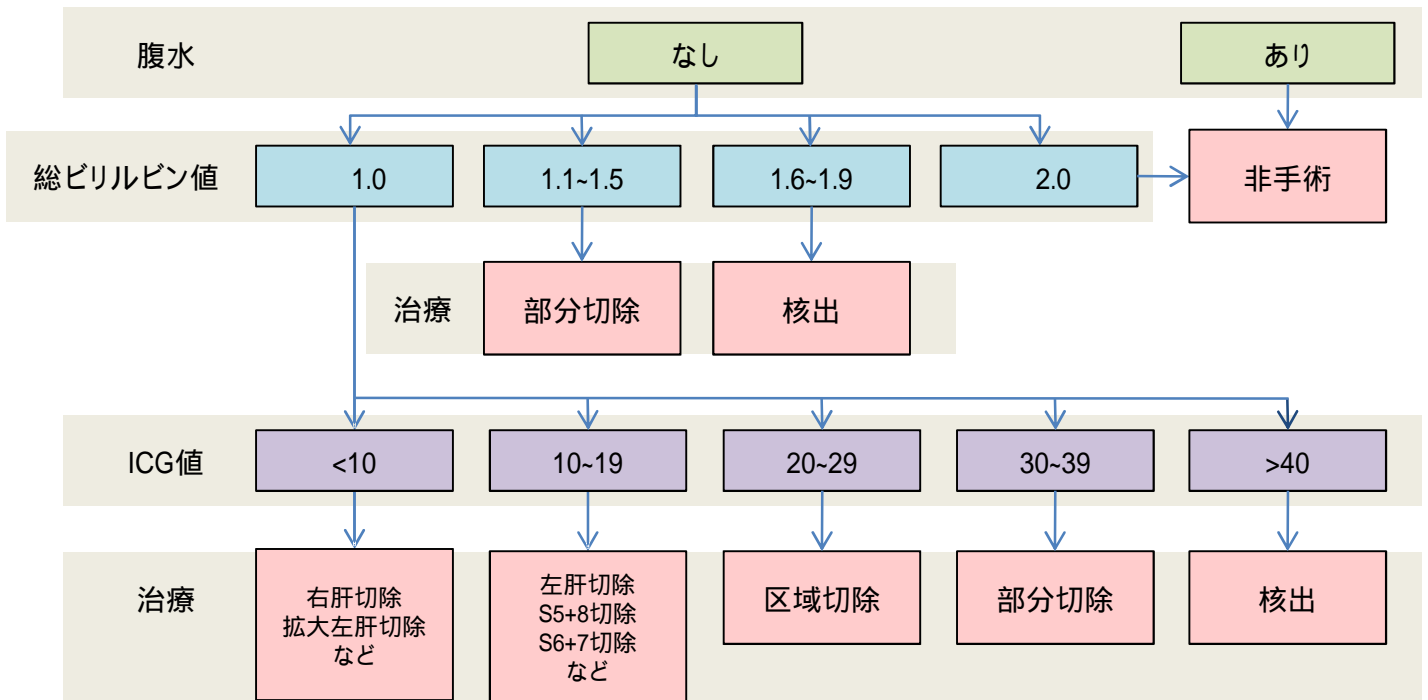


肝細胞癌診療ガイドライン

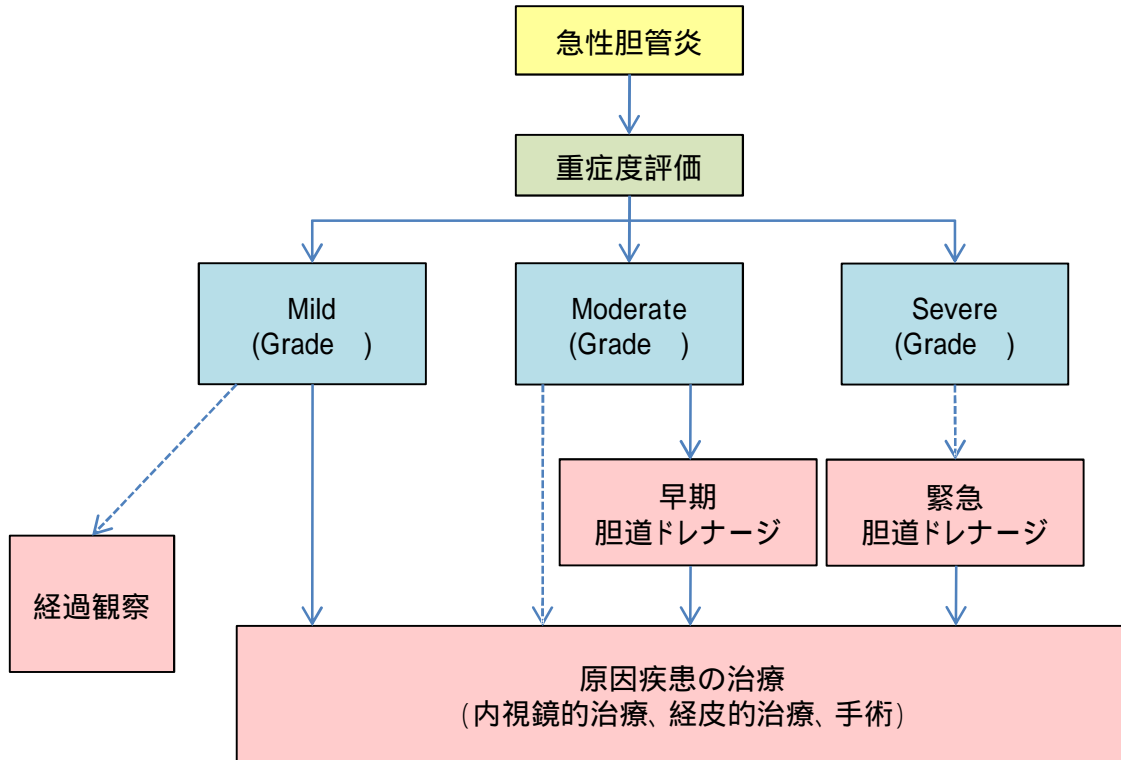
【肝細胞癌治療】



【肝切除・術式の適応】 (幕内基準)



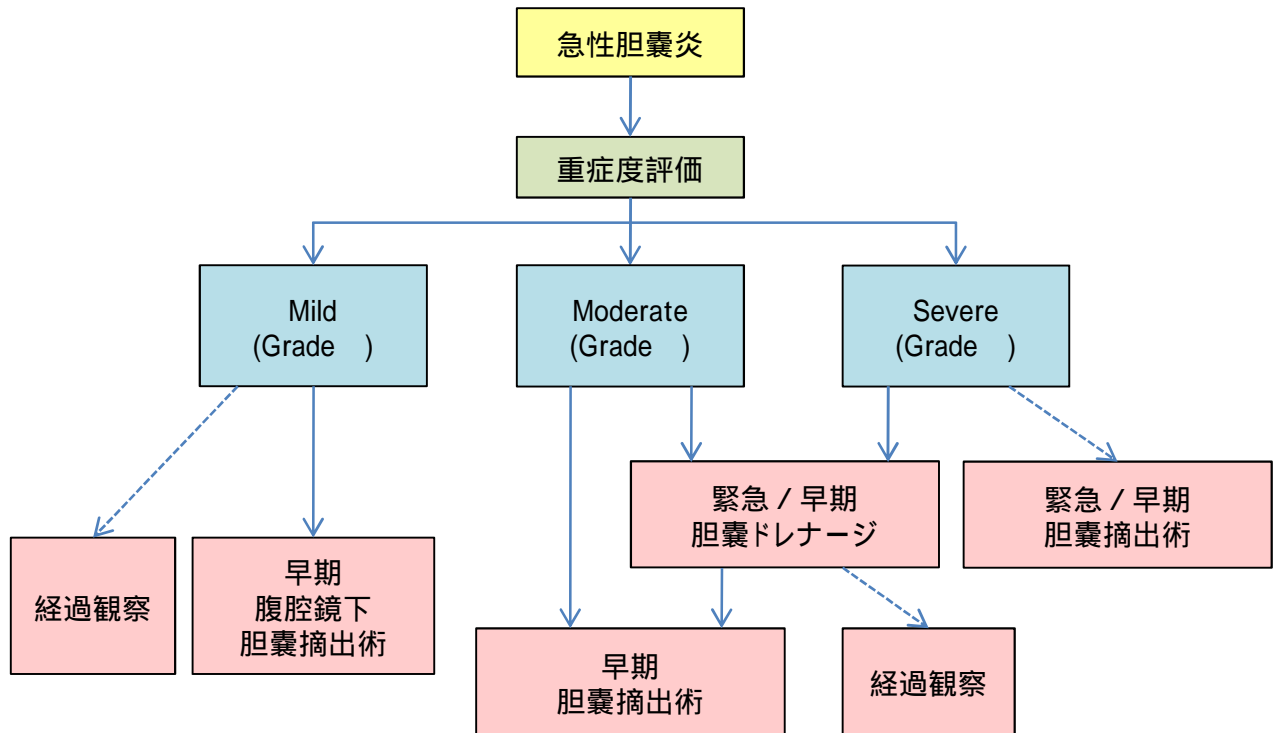
急性胆管炎診療ガイドライン



急性胆管炎重症度評価基準

基準	急性胆管炎重症度		
	Mild (Grade)	Moderate (Grade)	Severe (Grade)
臓器障害の有無	No	No	Yes
初期治療に対する反応	Yes	No	No

急性胆嚢炎診療ガイドライン



Mild (Grade)

合併症がなく他臓器障害もない
軽度な胆嚢の炎症のみ

Moderate (Grade) 以下のいずれか一つを満たす

1. 白血球数 > 18000
2. 右上腹部に圧痛を伴う腫瘤を触知
3. 72時間以上の愁訴
4. 胆嚢穿孔、胆嚢周囲膿瘍、壊疽性胆嚢炎、気腫性胆嚢炎
腹腔鏡下手術は発症より96時間以内に行われるべきである。

Severe (Grade) 以下のいずれかの臓器障害を含む

1. 心血管系障害 (5 μ g/kg/分以上のドパミン投与にても血圧が保てない)
2. 意識障害 (意識レベルの悪化)
3. 呼吸器障害 ($\text{PaO}_2/\text{FiO}_2 < 300$)
4. 腎障害 (クレアチニン > 2.0mg/dl)
5. 肝障害 (PT-INR > 1.5)
6. 血小板数 < 10万